

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 11.6$ で前期比0.2ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。受注残は0.5で0.9ポイント減と前期並の水準となり、収益は $\Delta 8.8$ で7.2ポイント増と大きく減益幅が縮小し、売上額は $\Delta 9.9$ で4.0ポイント減とやや減少を強めた。来期の見通しについては、業況は今期同様の悪化幅で推移し、受注残は増加から減少に転じ、収益は今期同様の減益が続き、売上額はわずかに減少が強まる見込み。

業種別でみると、業況は「電気機械器具」は好転し、「金属製品・建設用金属製品」は悪化に転じ、「一般機械器具・金型」は大幅に厳しさが和らいだ。売上額は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並の増加が続き、「電気機械器具」は増加から減少に転じ、「一般機械器具・金型」は極端に減少幅が縮小した。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり増加幅が縮小し、「電気機械器具」は増加から減少に転じ、「一般機械器具・金型」は大きく改善した。収益は、「電気機械器具」は増加に転じ、「金属製品・建設用金属製品」は多少持ち直し、「一般機械器具・金型」は幾分減益幅が拡大した。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は20.3で2.1ポイント増と若干上昇傾向が強まり、原材料価格は51.5で2.9ポイント減とやや上昇幅が縮小し、在庫は2.5で1.0ポイント増と幾分過剰感が強まった。来期の見通しについては、販売価格は上昇がわずかに弱まり、原材料価格は大きく上昇幅が縮小し、在庫は過剰から適正水準となる見通し。

業種別でみると、販売価格は、「一般機械器具・金型」は大幅に上昇傾向が強まり、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともにかなり上昇が弱まった。原材料価格は、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに多少上昇幅が縮小し、「金属製品・建設用金属製品」は極端に上昇傾向が弱まった。在庫は、「電気機械器具」は過剰に転じ、「一般機械器具・金型」は適正範囲に保たれ、「金属製品・建設用金属製品」は適正水準となった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 10.9$ で1.7ポイント増と若干窮屈感が緩和した。借入難易度は2.0で0.1ポイント減と前期並となった。借入をした企業は13.6%で増減わずかで推移した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は5.1%で3.2ポイント減少した。来期の見通しについて、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業はわずかに減少し、設備投資を実施する企業は多少増加する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに極端に窮屈感が緩和し、「金属製品・建設用金属製品」は厳しい状況に転じた。借入難易度は、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに大きく容易さが増し、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に後退した。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともにかなり増加し、「一般機械器具・金型」は増減なく推移した。設備投資を実施した企業は、「電気機械器具」は大きく増加し、「一般機械器具・金型」「金属製品・建設用金属製品」は前期同様変わらずとなった。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で47.5%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で42.4%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で20.3%となった。以下、4位は「利幅の縮小」で13.6%、5位は「工場・機械の狭小・老朽化」「人手不足」「同業者間の競争の激化」でいずれも10.2%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」「販路を広げる」でともに55.9%となった。次いで2位は「人材を確保する」で16.9%、3位は「情報力を強化する」で10.2%となった。以下、4位は「機械化を推進する」で6.8%、5位は「労働条件を改善する」「工場・機械を増設・移転する」でともに5.1%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△0.6で前期比13.1ポイント減と悪化に転じた。売上額は11.5で1.3ポイント減と前期並の増加が続き、受注残は11.2で8.4ポイント減とかなり増加幅が縮小し、収益は△2.6で5.0ポイント増と多少持ち直した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、収益は改善し、業況、受注残は悪化し、売上額は前期同様で推移した。価格動向については、販売価格は24.4で14.1ポイント減とかなり上昇が弱まり、原材料価格は41.3で32.5ポイント減と極端に上昇傾向が弱まった。在庫は△0.9で4.7ポイント増と適正水準となった。資金繰りは△14.8で21.3ポイント減と厳しい状況に転じ、借入難易度は33.3で6.7ポイント減と大幅に後退した。借入をした企業は12.5%で12.5ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で前期同様変わらずとなった。

来期の見通しについては、業況は低調感が極端に強まる見込み。売上額、受注残はともに増加から減少に転じ、収益は減益幅がやや拡大する見通し。価格動向については、販売価格、原材料価格はともに上昇傾向がわずかに弱まるとみられる。在庫は適正範囲に保たれ、資金繰りは窮屈感が多少強まり、設備投資を実施する企業は大きく増加する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で50.0%、2位は「工場・機械の狭小・老朽化」で37.5%、3位は「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」でともに25.0%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」「人材を確保する」でともに37.5%、2位は「経費を節減する」「情報力を強化する」でともに25.0%、3位は「新製品・技術を開発する」「不採算部門を整理・縮小する」「労働条件を改善する」「不動産の有効活用を図る」でいずれも12.5%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は△33.0で前期比18.3ポイント増と大幅に厳しさが和らいだ。売上額は△22.4で21.7ポイント増と極端に減少幅が縮小し、受注残は△20.3で9.8ポイント増と大きく改善し、収益は△28.1で3.5ポイント減と幾分減益幅が拡大した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残は改善し、収益は悪化した。価格動向については、販売価格は28.2で15.1ポイント増と大幅に上昇傾向が強まり、原材料価格は47.5で3.0ポイント減と多少上昇幅が縮小した。在庫は△0.8で1.5ポイント減と適正範囲に保たれた。資金繰りは△10.1で20.0ポイント増と極端に窮屈感が緩和し、借入難易度は33.3で19.0ポイント増と大きく容易さが増した。借入をした企業は0.0%で増減なく推移し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%で1.1ポイント増と前期同様変わらずとなった。

来期の見通しについては、業況は厳しさが大幅に和らぐ見込み。売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅がかなり拡大する見通し。販売価格、原材料価格はともに上昇傾向が大幅に弱まるとみられる。在庫は不足感がやや強まり、資金繰りは窮屈感が幾分緩和し、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「原材料高」でともに44.4%、2位は「同業者間の競争の激化」「仕入先からの値上げ要請」でともに22.2%、3位は「人手不足」「利幅の縮小」「工場・機械の狭小・老朽化」「生産能力の不足」でいずれも11.1%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で44.4%、2位は「機械化を推進する」で33.3%、3位は「販路を広げる」で22.2%となった。

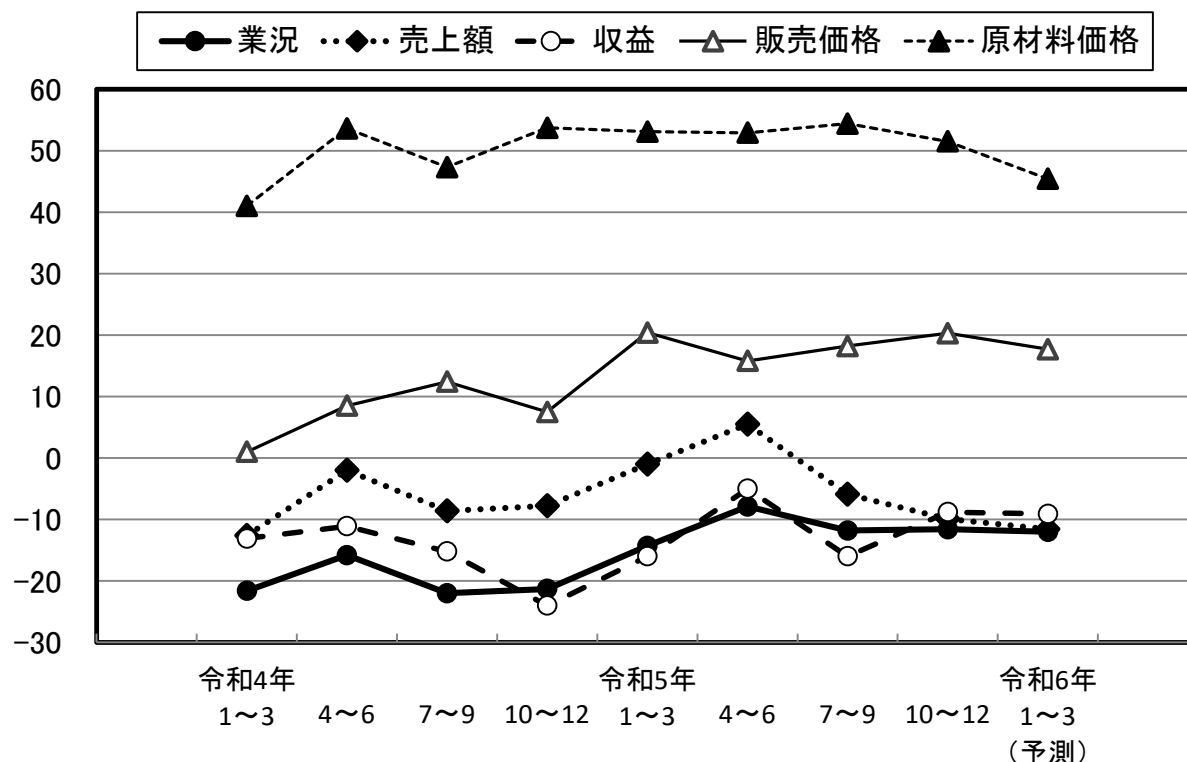
(3)電気機械器具

業況は9.1で前期比13.5ポイント増と好転した。売上額は△8.7で36.1ポイント減、受注残は△9.2で25.8ポイント減とともに増加から減少に転じ、収益は4.5で30.1ポイント増と増加に転じた。今期の「電気機械器具」は、業況、収益は改善し、売上額、受注残は悪化した。価格動向については、販売価格は33.2で7.5ポイント減とかなり上昇が弱まり、原材料価格は35.1で4.9ポイント減と多少上昇幅が縮小した。在庫は8.2で10.4ポイント増と過剰に転じた。資金繰りは△5.7で21.1ポイント増と極端に窮屈感が緩和し、借入難易度は14.3で14.3ポイント増と大きく容易さが増した。借入をした企業は37.5%で12.5ポイント増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は12.5%で12.5ポイント増加した。

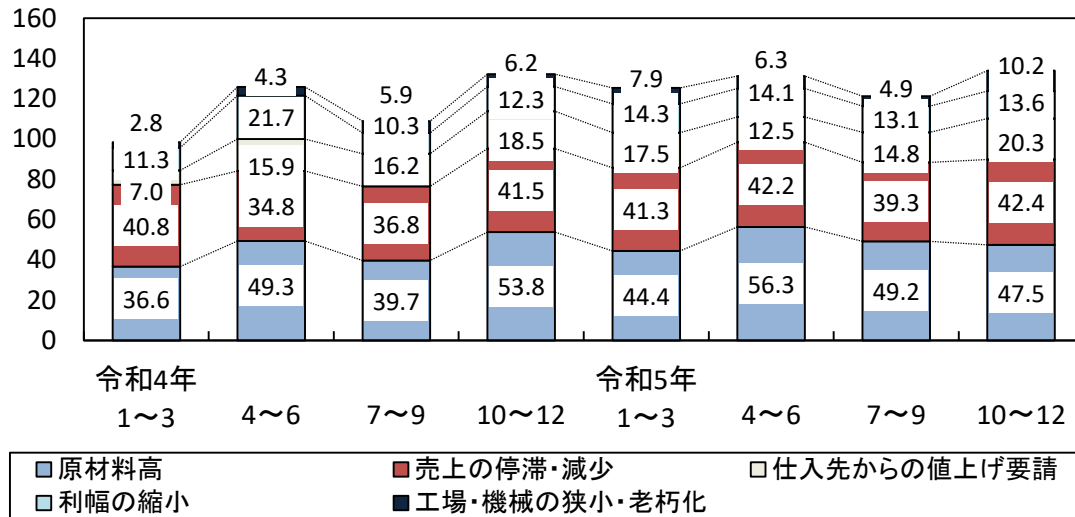
来期の見通しについては、業況は今期並の良好感が続く見込み。収益は好調さを大幅に強め、売上額、受注残はともに大きく改善する見通し。販売価格、原材料価格はともに今期並の上昇が続くとみられる。在庫は過剰から適正水準となり、資金繰りは容易となり、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で75.0%、2位は「原材料高」で25.0%、3位は「人手不足」「大手企業との競争の激化」「輸入製品との競争の激化」「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」「為替レートの変動」でいずれも12.5%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で75.0%、2位は「販路を広げる」で50.0%、3位は「人材を確保する」で25.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

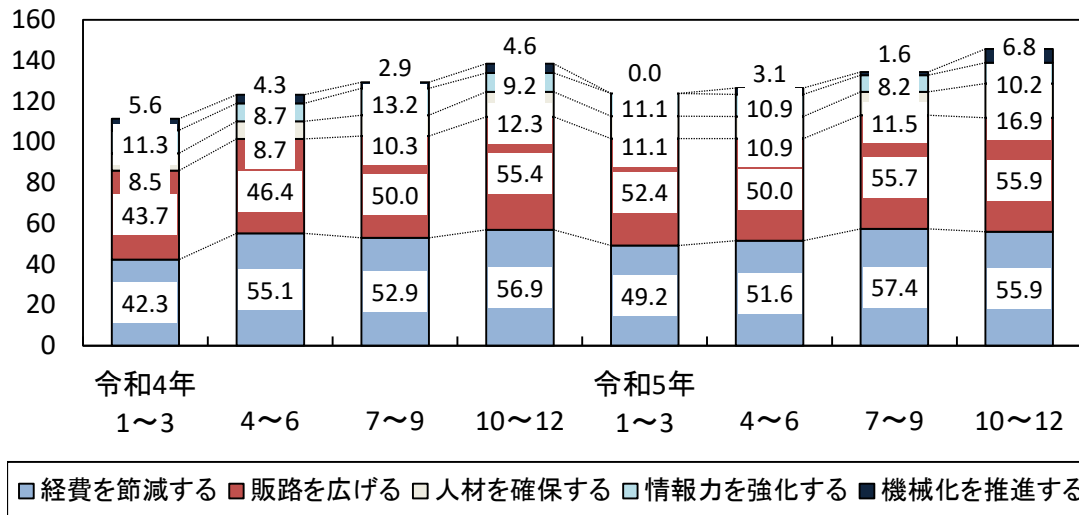


製造業 経営上の問題点（％）



	令和5年1月～3月期		令和5年4月～6月期		令和5年7月～9月期		令和5年10月～12月期	
第1位	原材料高	44.4 %	原材料高	56.3 %	原材料高	49.2 %	原材料高	47.5 %
第2位	売上の停滞・減少	41.3 %	売上の停滞・減少	42.2 %	売上の停滞・減少	39.3 %	売上の停滞・減少	42.4 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	17.5 %	同業者間の競争の激化	15.6 %	同業者間の競争の激化	16.4 %	仕入先からの値上げ要請	20.3 %
第4位	同業者間の競争の激化	15.9 %	利幅の縮小	14.1 %	仕入先からの値上げ要請	14.8 %	利幅の縮小	13.6 %
第5位	利幅の縮小	14.3 %	仕入先からの値上げ要請	12.5 %	利幅の縮小	13.1 %	工場・機械の狭小・老朽化	10.2 %
							人手不足	10.2 %
							同業者間の競争の激化	10.2 %

製造業 重点経営施策（％）



	令和5年1月～3月期		令和5年4月～6月期		令和5年7月～9月期		令和5年10月～12月期	
第1位	販路を広げる	52.4 %	経費を節減する	51.6 %	経費を節減する	57.4 %	経費を節減する	55.9 %
							販路を広げる	55.9 %
第2位	経費を節減する	49.2 %	販路を広げる	50.0 %	販路を広げる	55.7 %	人材を確保する	16.9 %
第3位	人材を確保する	11.1 %	人材を確保する	10.9 %	人材を確保する	11.5 %	情報力を強化する	10.2 %
	新製品・技術を開発する	11.1 %	情報力を強化する	10.9 %				
	情報力を強化する	11.1 %						
第4位	不採算部門を整理・縮小する	6.3 %	新製品・技術を開発する	9.4 %	情報力を強化する	8.2 %	機械化を推進する	6.8 %
第5位	不動産の有効活用を図る	4.8 %	提携先を見つける	7.8 %	新製品・技術を開発する	6.6 %	労働条件を改善する	5.1 %
							工場・機械を増設・移転する	5.1 %

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は△30.0で前期比 6.9 ポイント減と大幅に低迷した。売上額は 1.3 で 4.2 ポイント増と増加に転じ、収益は△23.9 で 2.4 ポイント減と多少減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぎ、売上額は増加から減少に転じ、収益は減益幅がかなり縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 44.6 で 4.2 ポイント増とやや上昇傾向が強まり、仕入価格は 70.4 で 2.3 ポイント減とわずかに落ち着きを見せた。在庫は 10.3 で 0.7 ポイント増と前期並の過剰感が続いた。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向が幾分弱まり、仕入価格は大きく上昇幅が縮小し、在庫は今期同様の過剰感が続く見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

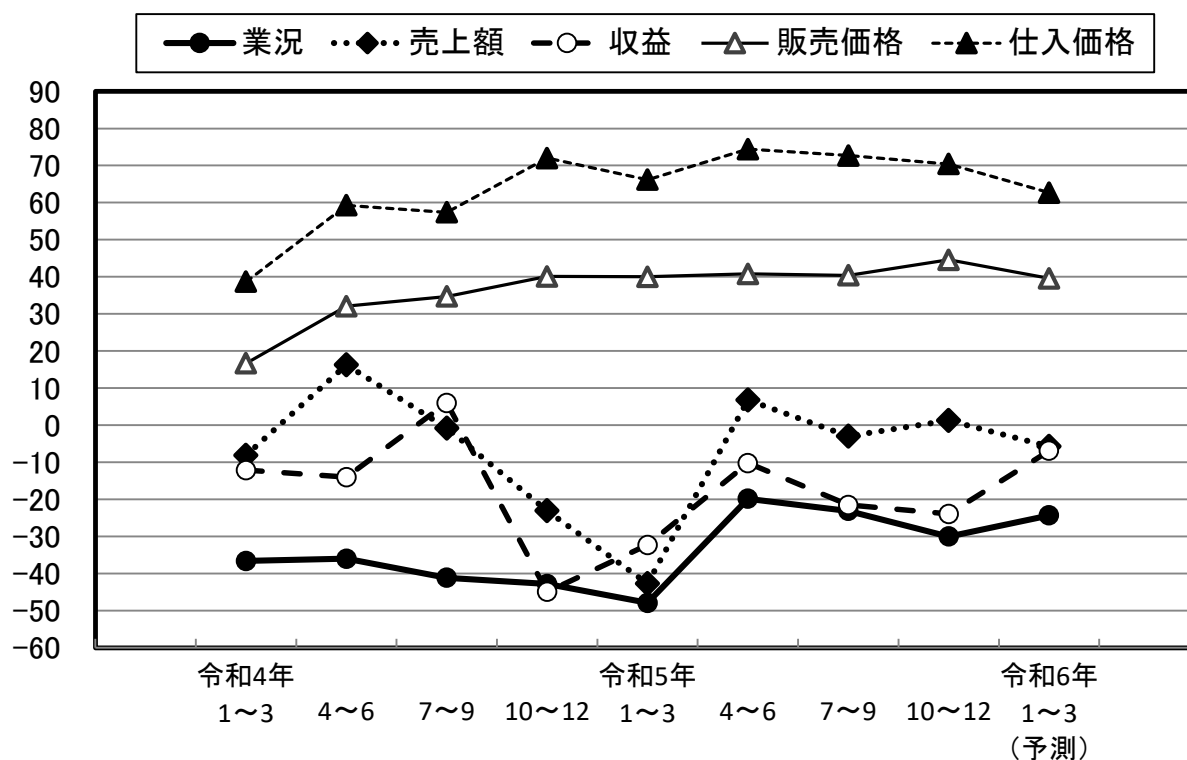
資金繰りは△5.7 で 10.2 ポイント増とかなり改善し、借入難易度は△22.2 で 17.2 ポイント減とかなり厳しさが強まった。借入をした企業は 10.0%、設備投資を実施した企業は 0.0%とともに前期同様変わらず推移した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が若干緩和し、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともにやや増加する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

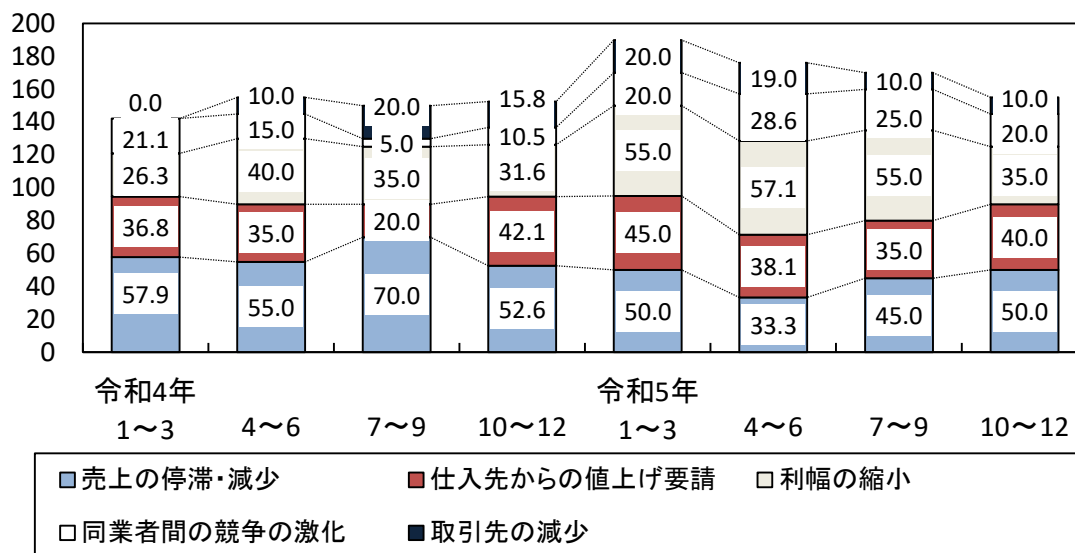
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 50.0%となった。次いで 2 位は「仕入先からの値上げ要請」で 40.0%、3 位は「利幅の縮小」で 35.0%となった。以下、4 位は「同業者間の競争の激化」で 20.0%、5 位は「取引先の減少」「人手不足」「取扱商品の陳腐化」でいずれも 10.0%となった。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」で 60.0%となった。次いで 2 位は「経費を節減する」で 55.0%、3 位は「品揃えを充実する」で 35.0%となった。以下、4 位は「人材を確保する」で 15.0%、5 位は「新しい事業を始める」「情報力を強化する」でともに 10.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

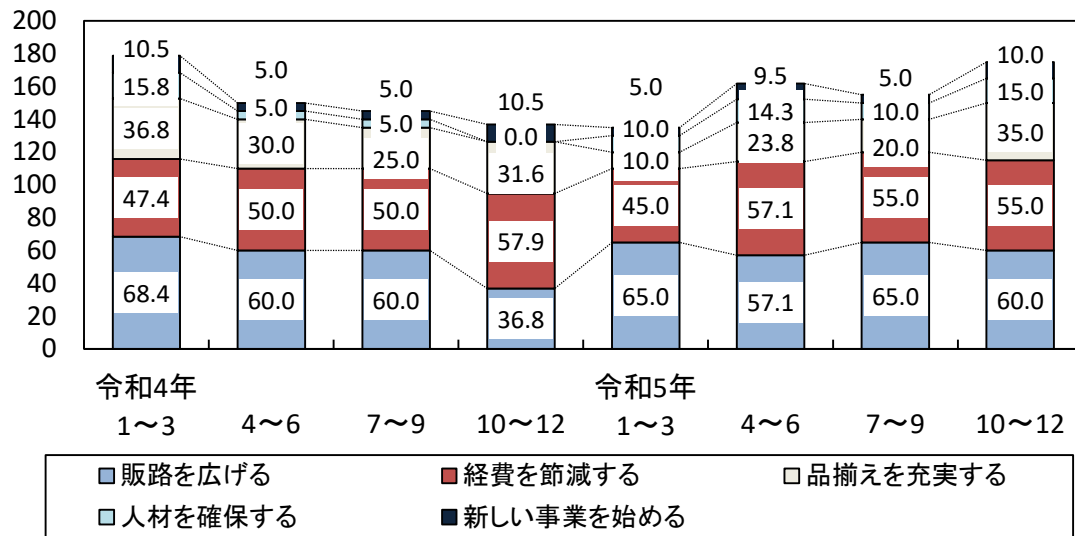


卸売業 経営上の問題点（％）



	令和5年1月～3月期		令和5年4月～6月期		令和5年7月～9月期		令和5年10月～12月期	
第1位	利幅の縮小	55.0 %	利幅の縮小	57.1 %	利幅の縮小	55.0 %	売上の停滞・減少	50.0 %
第2位	売上の停滞・減少	50.0 %	仕入先からの値上げ要請	38.1 %	売上の停滞・減少	45.0 %	仕入先からの値上げ要請	40.0 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	45.0 %	売上の停滞・減少	33.3 %	仕入先からの値上げ要請	35.0 %	利幅の縮小	35.0 %
第4位	取引先の減少	20.0 %	同業者間の競争の激化	28.6 %	同業者間の競争の激化	25.0 %	同業者間の競争の激化	20.0 %
第5位	人手不足	10.0 %	取引先の減少	19.0 %	販売納入先からの値下げ要請	15.0 %	取引先の減少	10.0 %
	取扱商品の陳腐化	10.0 %			人手不足	15.0 %	人手不足	10.0 %
							取扱商品の陳腐化	10.0 %

卸売業 重点経営施策（％）



	令和5年1月～3月期		令和5年4月～6月期		令和5年7月～9月期		令和5年10月～12月期	
第1位	販路を広げる	65.0 %	経費を節減する	57.1 %	販路を広げる	65.0 %	販路を広げる	60.0 %
第2位	経費を節減する	45.0 %	品揃えを充実する	23.8 %	経費を節減する	55.0 %	経費を節減する	55.0 %
第3位	不動産の有効活用を図る	15.0 %	人材を確保する	14.3 %	品揃えを充実する	20.0 %	品揃えを充実する	35.0 %
第4位	流通経路の見直しをする	10.0 %	流通経路の見直しをする	9.5 %	流通経路の見直しをする	15.0 %	人材を確保する	15.0 %
	人材を確保する	10.0 %	情報力を強化する	9.5 %	情報力を強化する	15.0 %		
	品揃えを充実する	10.0 %	新しい事業を始める	9.5 %				
	情報力を強化する	10.0 %	パート化を図る	9.5 %				
第5位	新しい事業を始める	5.0 %	提携先を見つける	4.8 %	人材を確保する	10.0 %	新しい事業を始める	10.0 %
			不動産の有効活用を図る	4.8 %			情報力を強化する	10.0 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は△5.8で前期比8.3ポイント減と悪化に転じた。売上額は△1.8で0.1ポイント増と前期同様の水準となり、収益は△19.9で8.5ポイント減とかなり減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まり、売上額は増加に転じ、収益は減益幅がかなり縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は24.1で2.1ポイント減、仕入価格は54.6で4.0ポイント減とともにやや上昇傾向が弱まった。在庫は2.5で2.6ポイント減とわずかに過剰感が改善した。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向が多少強まり、仕入価格は今期同様の上昇が続き、在庫は過剰感が幾分強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

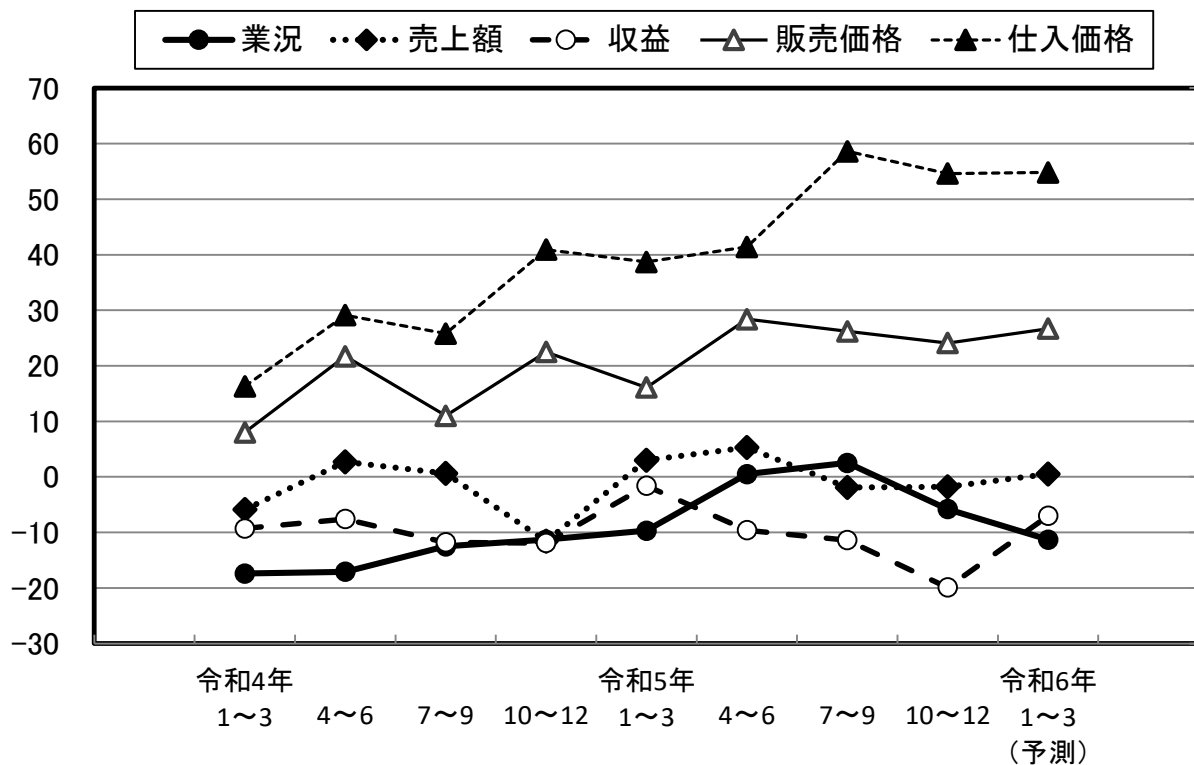
資金繰りは0.2で3.4ポイント減とやや容易さが縮小した。借入難易度は△4.5で14.0ポイント減と厳しい状況に転じ、借入をした企業は21.9%で3.9ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は16.7%で6.7ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さがやや増し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

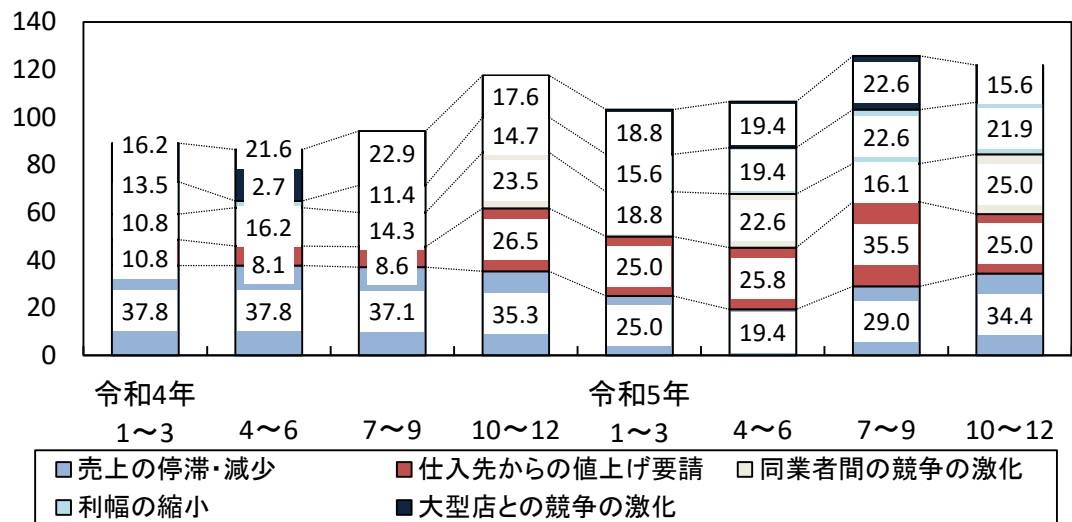
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で34.4%となった。次いで2位は「仕入先からの値上げ要請」「同業者間の競争の激化」でともに25.0%、3位は「利幅の縮小」で21.9%となった。以下、4位は「大型店との競争の激化」で15.6%、5位は「商店街の集客力の低下」で12.5%となった。

重点経営施策では、1位は「宣伝・広告を強化する」「経費を節減する」でともに43.8%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で28.1%、3位は「売れ筋商品を取り扱う」で15.6%となった。以下、4位は「商店街事業を活性化させる」「仕入先を開拓・選別する」でともに12.5%、5位は「店舗・設備を改装する」「機械化を推進する」「人材を確保する」でいずれも6.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

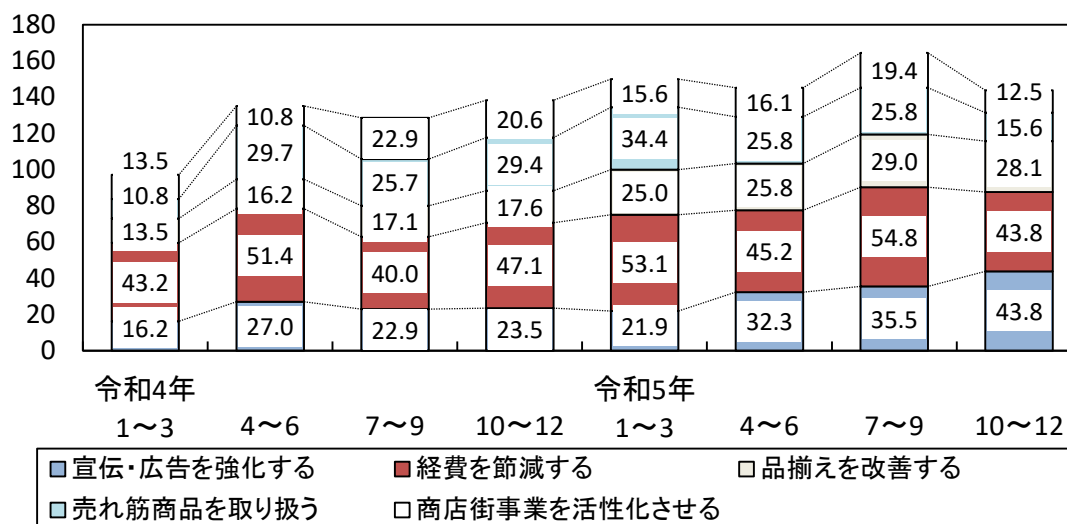


小売業 経営上の問題点（％）



	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期
第1位	商店街の集客力の低下 25.0 % 仕入先からの値上げ要請 25.0 % 売上の停滞・減少 25.0 %	仕入先からの値上げ要請 25.8 %	仕入先からの値上げ要請 35.5 %	売上の停滞・減少 34.4 %
第2位	大型店との競争の激化 18.8 % 同業者間の競争の激化 18.8 %	商店街の集客力の低下 22.6 % 同業者間の競争の激化 22.6 %	売上の停滞・減少 29.0 %	仕入先からの値上げ要請 25.0 % 同業者間の競争の激化 25.0 %
第3位	利幅の縮小 15.6 %	利幅の縮小 19.4 % 大型店との競争の激化 19.4 % 売上の停滞・減少 19.4 %	利幅の縮小 22.6 % 大型店との競争の激化 22.6 %	利幅の縮小 21.9 %
第4位	人手不足 12.5 % 取引先の減少 12.5 % 商圈人口の減少 12.5 %	人手不足 9.7 % 商圈人口の減少 9.7 % 店舗の狭小・老朽化 9.7 % 天候の不順 9.7 %	商店街の集客力の低下 16.1 % 同業者間の競争の激化 16.1 %	大型店との競争の激化 15.6 %
第5位	店舗の狭小・老朽化 9.4 %	取扱商品の陳腐化 6.5 %	商圈人口の減少 9.7 % 店舗の狭小・老朽化 9.7 %	商店街の集客力の低下 12.5 %

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期
第1位	経費を節減する 53.1 %	経費を節減する 45.2 %	経費を節減する 54.8 %	宣伝・広告を強化する 43.8 % 経費を節減する 43.8 %
第2位	売れ筋商品を取り扱う 34.4 %	宣伝・広告を強化する 32.3 %	宣伝・広告を強化する 35.5 %	品揃えを改善する 28.1 %
第3位	品揃えを改善する 25.0 %	売れ筋商品を取り扱う 25.8 % 品揃えを改善する 25.8 %	品揃えを改善する 29.0 %	売れ筋商品を取り扱う 15.6 %
第4位	宣伝・広告を強化する 21.9 %	商店街事業を活性化させる 16.1 %	売れ筋商品を取り扱う 25.8 %	商店街事業を活性化させる 12.5 % 仕入先を開拓・選別する 12.5 %
第5位	商店街事業を活性化させる 15.6 %	店舗・設備を改装する 9.7 % 人材を確保する 9.7 %	商店街事業を活性化させる 19.4 %	店舗・設備を改装する 6.3 % 機械化を推進する 6.3 % 人材を確保する 6.3 %

サ ー ビ ス 業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は△4.7で前期比6.8ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は7.7で3.5ポイント増と若干増加幅が拡大し、収益は△5.6で0.6ポイント減と前期同様の減益が続いた。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続き、売上額は今期並の増加が続き、収益は減益幅がやや縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は18.4で7.1ポイント増と大幅に上昇傾向が強まり、材料価格は38.7で2.8ポイント減とわずかに上昇幅が縮小した。来期の見通しについては、料金価格は上昇幅が若干拡大し、材料価格は上昇傾向が多少弱まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

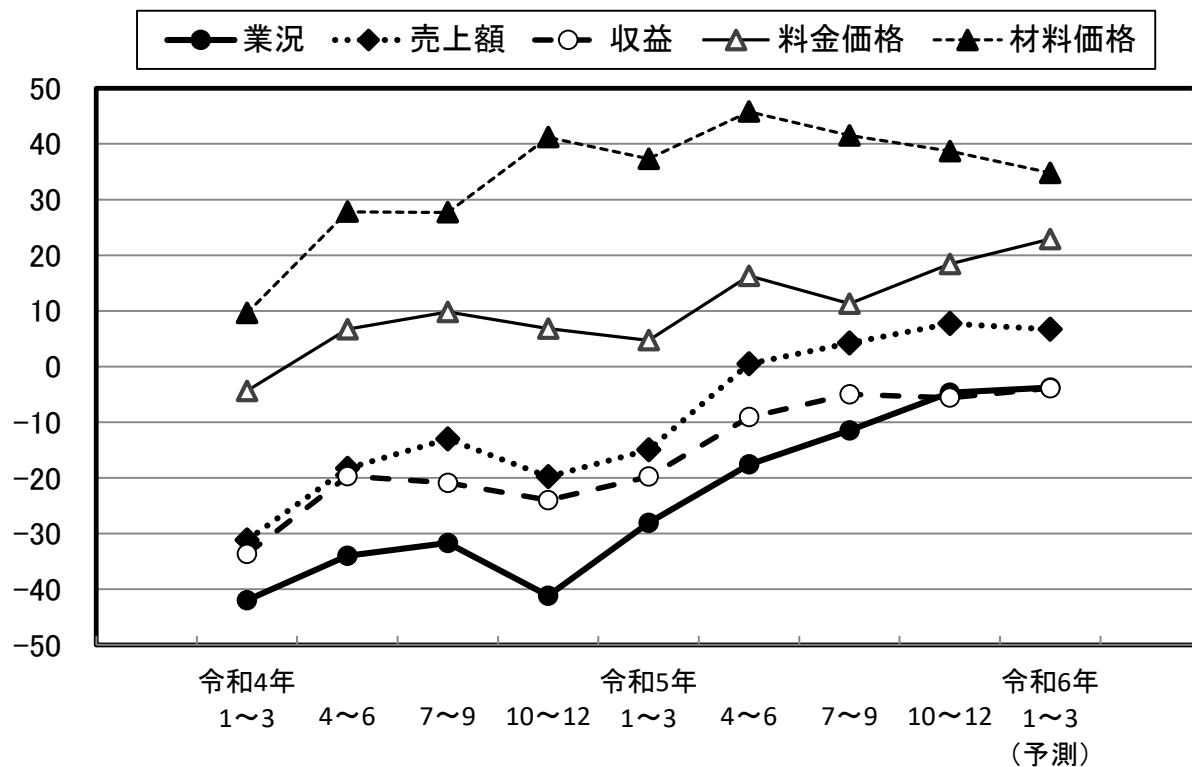
資金繰りは△1.2で4.1ポイント減と厳しい状況に転じ、借入難易度は△9.1で2.8ポイント減と幾分厳しさが強まった。借入をした企業は12.5%で2.7ポイント増、設備投資を実施した企業は9.8%で4.8ポイント増とともにやや増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様変わらず推移し、借入をする企業は若干減少し、設備投資を実施する企業は今期並となる見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

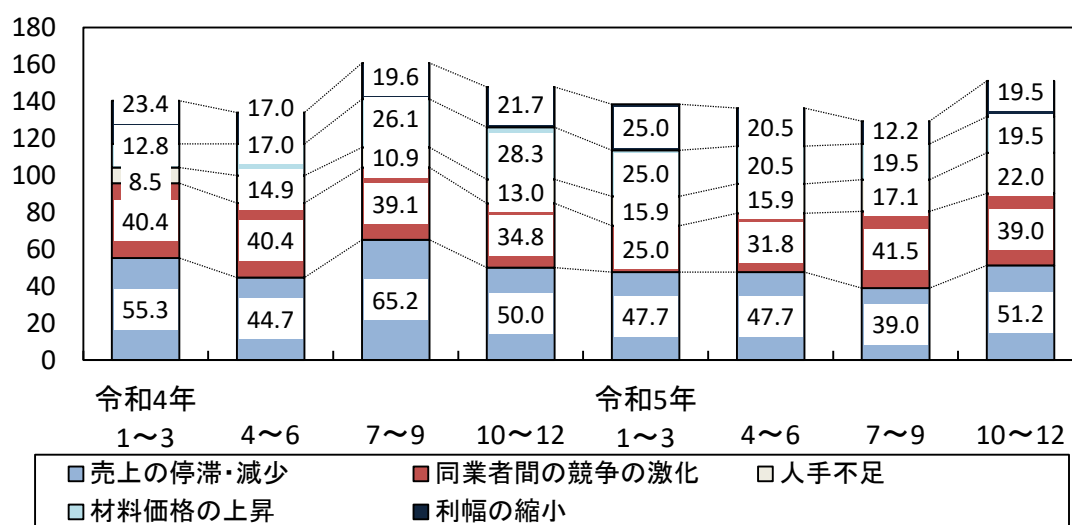
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で51.2%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で39.0%、3位は「人手不足」で22.0%となった。以下、4位は「材料価格の上昇」「利幅の縮小」でともに19.5%、5位は「人件費の増加」「取引先の減少」でともに9.8%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で51.2%となった。次いで2位は「経費を節減する」で43.9%、3位は「宣伝・広告を強化する」で22.0%となった。以下、4位は「人材を確保する」で12.2%、5位は「労働条件を改善する」「提携先を見つける」でともに9.8%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

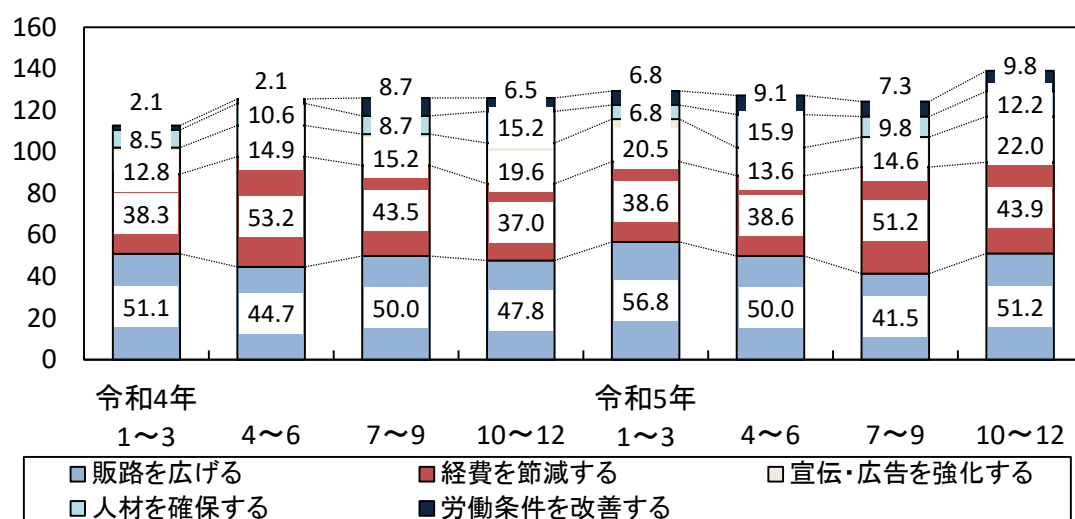


サービス業 経営上の問題点（％）



	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期
第1位	売上の停滞・減少 47.7 %	売上の停滞・減少 47.7 %	同業者間の競争の激化 41.5 %	売上の停滞・減少 51.2 %
第2位	材料価格の上昇 25.0 % 利幅の縮小 25.0 % 同業者間の競争の激化 25.0 %	同業者間の競争の激化 31.8 %	売上の停滞・減少 39.0 %	同業者間の競争の激化 39.0 %
第3位	人手不足 15.9 %	材料価格の上昇 20.5 % 利幅の縮小 20.5 %	材料価格の上昇 19.5 %	人手不足 22.0 %
第4位	大企業との競争の激化 9.1 %	人手不足 15.9 %	人手不足 17.1 %	材料価格の上昇 19.5 % 利幅の縮小 19.5 %
第5位	人件費の増加 6.8 % 取引先の減少 6.8 % 商圏人口の減少 6.8 %	人件費の増加 11.4 % 取引先の減少 11.4 %	利幅の縮小 12.2 %	人件費の増加 9.8 % 取引先の減少 9.8 %

サービス業 重点経営施策（％）



	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期	令和5年7月～9月期	令和5年10月～12月期
第1位	販路を広げる 56.8 %	販路を広げる 50.0 %	経費を節減する 51.2 %	販路を広げる 51.2 %
第2位	経費を節減する 38.6 %	経費を節減する 38.6 %	販路を広げる 41.5 %	経費を節減する 43.9 %
第3位	宣伝・広告を強化する 20.5 %	人材を確保する 15.9 %	提携先を見つける 14.6 % 宣伝・広告を強化する 14.6 %	宣伝・広告を強化する 22.0 %
第4位	提携先を見つける 15.9 %	宣伝・広告を強化する 13.6 %	人材を確保する 9.8 %	人材を確保する 12.2 %
第5位	技術力を強化する 11.4 %	労働条件を改善する 9.1 % 新しい事業を始める 9.1 % 提携先を見つける 9.1 %	教育訓練を強化する 7.3 % 労働条件を改善する 7.3 %	労働条件を改善する 9.8 % 提携先を見つける 9.8 %

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は 13.2 で前期比 15.6 ポイント増と好転した。施工高は 8.2 で 5.1 ポイント増とやや増加幅が拡大し、受注残は 4.3 で 18.1 ポイント増と増加に転じ、売上額は△1.1 で 9.7 ポイント増、収益は△23.6 で 7.3 ポイント増とともにかなり減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについて、業況は今期並の良好感が続く見込み。受注残は今期同様の増加が続き、施工高は増加幅がわずかに拡大し、売上額は増加に転じ、収益は多少減益が強まる見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 26.1 で 6.7 ポイント増、材料価格は 76.3 で 11.2 ポイント増とともに大きく上昇傾向が強まった。在庫は△2.8 で 12.6 ポイント増と大幅に不足感が改善した。来期の見通しについては、請負価格は今期並の上昇が続き、材料価格は上昇傾向が幾分強まり、在庫は不足感が若干強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

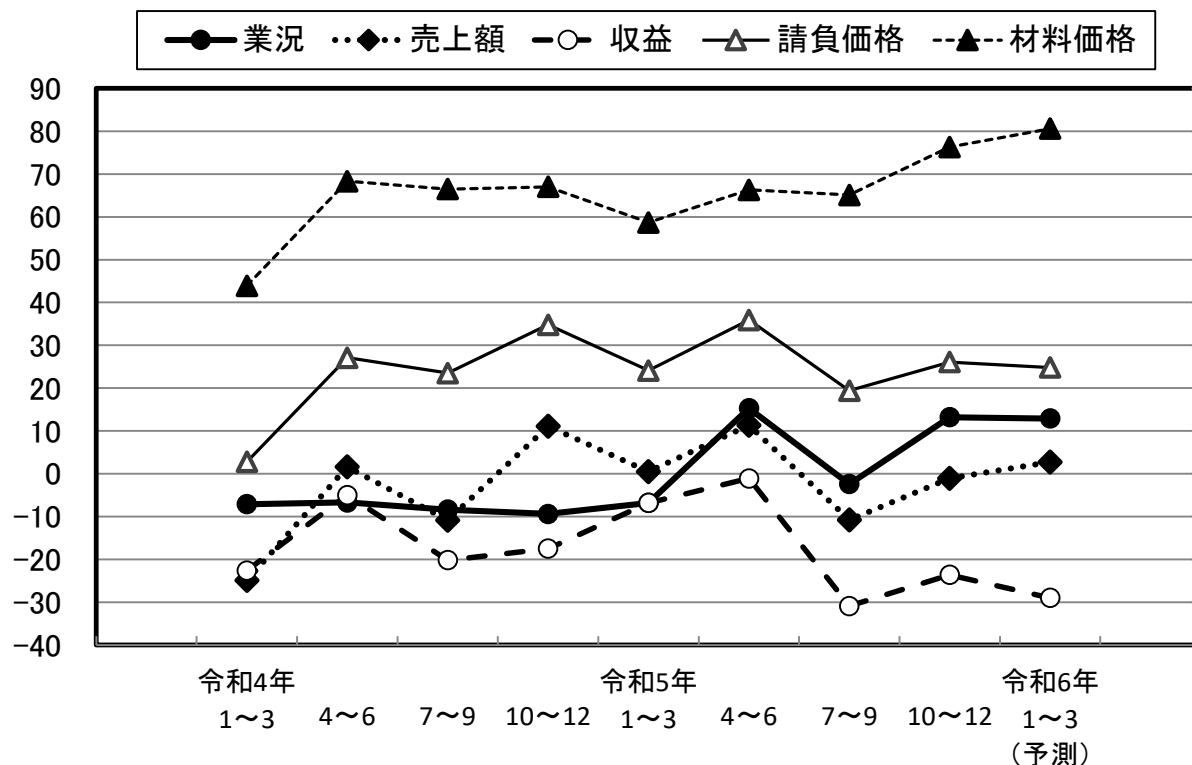
資金繰りは 11.9 で 10.4 ポイント増と大幅に容易さが増し、借入難易度は 4.1 で 9.6 ポイント減とかなり後退した。借入をした企業は 3.2%で 9.7 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 16.1%で増減なく推移した。来期の見通しについては、資金繰りは厳しい状況に転じ、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともにやや減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

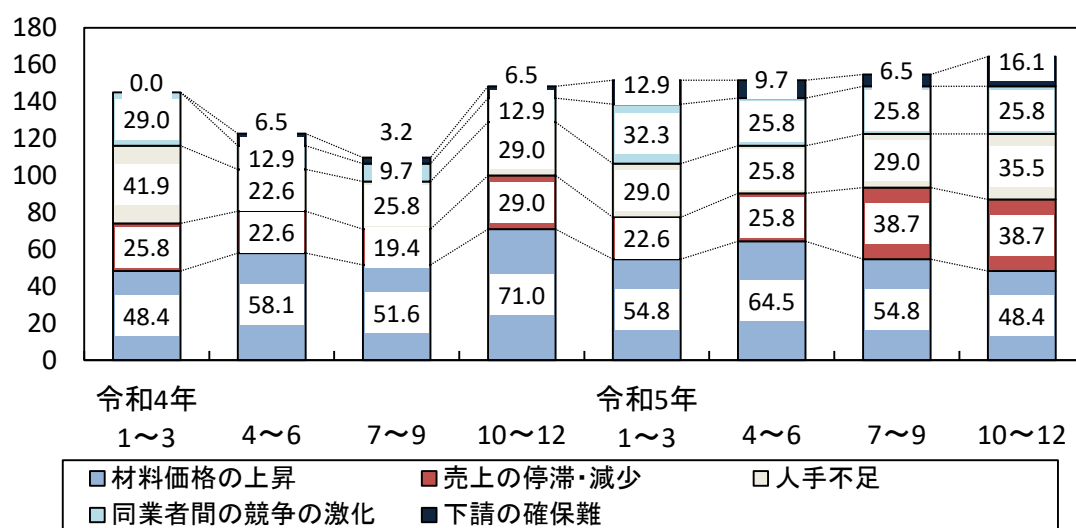
経営上の問題点は、1 位は「材料価格の上昇」で 48.4%となった。次いで 2 位は「売上の停滞・減少」で 38.7%、3 位は「人手不足」で 35.5%となった。以下、4 位は「同業者間の競争の激化」で 25.8%、5 位は「下請の確保難」で 16.1%となった。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」で 54.8%となった。次いで 2 位は「人材を確保する」「販路を広げる」でともに 45.2%、3 位は「技術力を高める」で 22.6%となった。以下、4 位は「情報力を強化する」で 12.9%、5 位は「教育訓練を強化する」で 6.5%となった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

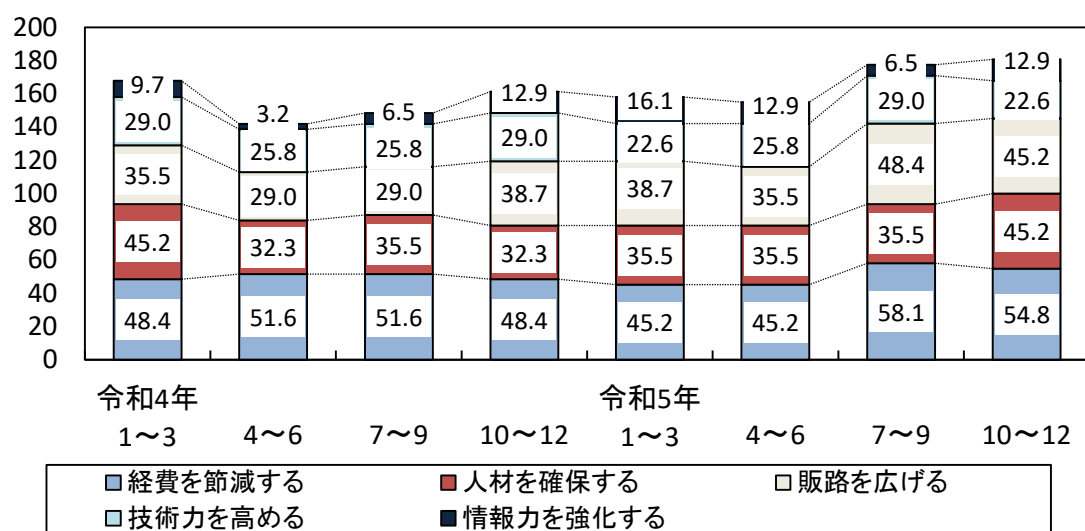


建設業 経営上の問題点（％）



	令和5年1月～3月期		令和5年4月～6月期		令和5年7月～9月期		令和5年10月～12月期	
第1位	材料価格の上昇	54.8 %	材料価格の上昇	64.5 %	材料価格の上昇	54.8 %	材料価格の上昇	48.4 %
第2位	同業者間の競争の激化	32.3 %	同業者間の競争の激化	25.8 %	売上の停滞・減少	38.7 %	売上の停滞・減少	38.7 %
			人手不足	25.8 %				
			売上の停滞・減少	25.8 %				
第3位	人手不足	29.0 %	人件費の増加	16.1 %	人手不足	29.0 %	人手不足	35.5 %
第4位	売上の停滞・減少	22.6 %	利幅の縮小	12.9 %	同業者間の競争の激化	25.8 %	同業者間の競争の激化	25.8 %
第5位	人件費の増加	19.4 %	大手企業との競争の激化	9.7 %	利幅の縮小	19.4 %	下請の確保難	16.1 %
			下請の確保難	9.7 %				

建設業 重点経営施策（％）



	令和5年1月～3月期		令和5年4月～6月期		令和5年7月～9月期		令和5年10月～12月期	
第1位	経費を節減する	45.2 %	経費を節減する	45.2 %	経費を節減する	58.1 %	経費を節減する	54.8 %
第2位	販路を広げる	38.7 %	人材を確保する	35.5 %	販路を広げる	48.4 %	人材を確保する	45.2 %
			販路を広げる	35.5 %			販路を広げる	45.2 %
第3位	人材を確保する	35.5 %	技術力を高める	25.8 %	人材を確保する	35.5 %	技術力を高める	22.6 %
第4位	技術力を高める	22.6 %	情報力を強化する	12.9 %	技術力を高める	29.0 %	情報力を強化する	12.9 %
第5位	情報力を強化する	16.1 %	教育訓練を強化する	9.7 %	教育訓練を強化する	6.5 %	教育訓練を強化する	6.5 %
					情報力を強化する	6.5 %		